

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	48,49	・様々な心身の状態の方々がおられる中、入居者様全員に日々の生活の中で楽しんで充実した生活を提供する難しさがある。	・入居者様一人ひとりが日々を楽しみながら生活を行う。職員も一緒になって充実させていく。	・質の高い外出支援(目的、意向をより反映) ・レク委員中心としてレク内容の充実に努める。(各資料等を活用) ・コミュニケーション、関わりが少ない方、困難な方へのアプローチについて工夫(各テーブルごとで作品作る等)	6ヶ月
2	30	・入居者様への機能訓練の充実	・PTの先生と連携し効果的なりハビリ方法について助言を頂きながら、身体機能の向上・維持に努める。	・PT(週2回)と連携し身体機能の状況を診ていただき、一人ひとりに応じたりハビリメニューを作成して実施する。	6ヶ月
3	10,13	・知識や技術の向上に向けて勉強していく機会が少ない。	・施設全体での知識・技術を得る機会をつくり、向上が図れる。	・月1回、全体会議やユニット会議等の際に勉強する機会をつくる。(看取り、認知症ケア、感染症等) ・外部研修等(リーダー研修、実践者研修等)の伝達勉強会等の実施	3ヶ月
4	13	・職員の意欲向上のための仕組みづくり	・主任、リーダー等の役職者、各委員会、入居担当等、各自の役割を明確にし責任感、意識を高める。また職員の意見を聞き取る機会をつくる。	・各役割内容を見直して明確にする。また意見を引き出せる機会をつくる。(前向きになる提案カード(年2回)) ・外部施設の研修、見学	6ヶ月
5	30	・入居者様の口腔内の状況について、何かしら悪化してからの対応ではなく、協力歯科医と連携し、予防的観点を持ち対応する。	・口腔内の衛生、清潔保持、義歯の不具合等の早期調整等	・協力歯科医と連携し、入居者様全員に対し定期的な歯科診療(年2回)を実施し口腔内の状況の把握等に努める。	6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。